

名前：-

私たちが小学生の頃から、授業にパソコンの操作が加えられました。そしてインターネットはまたたく間に私たちの生活必需品の一つとなり、私たちは簡単な操作で世界中のありとあらゆる情報を手に入れることができます。自分の知りたい情報を選択して見ることができる利便性、そして世界中のどこからでも同じ情報を得られるという特徴は、新聞や雑誌とは異なります。確かに新聞や雑誌で得ることができる情報は、インターネットでほぼ百分百得られますが、だからといって新聞や雑誌が不必要だと言うことはできないと思います。

インターネットは自分が選択した情報を簡単に得ることができるのに対し、新聞は、今最も重要なニュースを私たちに伝えます。読み手に伝えるべきことははっきりしていて、また、その情報が具体的にそこにあるということでは人は安心できると思います。雑誌の場合も同じで、自分の興味や趣味に応じて、そ

れに特化した情報を紙という形の手に入れられ、より興味や趣味への没頭を助長してくれると思います。私はよくファッション雑誌を時間が空いた時や、服を買いだいたいときに購入します。雑誌は昔から娯楽を支えてきたものであると考えられます。

インターネットは確実に私たちの生活を便利にしました。今ではインターネットで買い物も、チケットの予約も、何もかもができます。しかしながら、どうしても信用性がありません。なぜなら、誰もが簡単に利用できるインターネットは、多くの誤情報の危険性が高いのです。新聞や雑誌では昔から多くの人の言論や記事が掲載されてきましたが、その信用性や説得力は、現在のインターネットの情報よりもはるかに高いと思います。以上の意見により、私は新聞や雑誌はこれからも私たちの生活に必要であると結論づけたいと思います。

1800字